

目標達成計画

作成日：平成28年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念について、日頃より運営の中心にすえ、職員一人ひとりの理解を深めるべく努めているが、内容に具体性が乏しく、施設の特色をあらわすにいたっていない。	職員だけでなく、利用者や他の関係者にも、当施設の特色、目指している介護の方向性が具体的に分かる「事業所の理念」を設定し、理念に基づいた援助を行う。	誰にも分かりやすく、具体的な理念をつくる。	3ヶ月
2	4	運営推進会議を開催するに当たり、協力いただける方が非常に少なく、会議において多用な意見をいただくことができていない。	地域の事情により、近隣の方に協力いただくことが困難ではあるが、大学や医療機関が多い地域特性を活かし、知見を有する方や地域の実情に詳しい方に運営推進会議に参加いただく。	近隣の大学や医療機関、また利用者のご家族、地域にお住まいの方等、多くの方に運営推進会議に協力いただけるよう働きかける。	12ヶ月
3	35	立地的に想定される災害として地震、およびそれに伴う津波が考えられる。この場合の避難経路や方法等については定めているが、想定どおりに避難行動がとれるかが問題である。	災害時に職員および利用者がパニックに陥ることなく、安全に避難ができるよう定期的な訓練、および避難計画の見直しを行う。	夜間の人員体制下での津波を想定し、建物1Fのホームから建物3Fの併設老健フロアへの避難訓練を行う。 必要な時間や避難計画の問題点を抽出し、改善する。	3ヶ月
4	10	利用者家族の大半が疎遠となっており、本来必要な意見交換等ができていない。	利用者家族に、ホームの運営について興味を持っていただき、より多くの意見や要望をいただける。	普段、ホームに来所されることがあまりない利用者家族にも、利用者の近況や、ホームの取り組みを知っていただく為に、写真や手紙等で報告する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。